

2019年12月10日、パリ

## 世界の自動車産業と規制強化:非常に厳しい前途

*特に環境目的で、ますます規制が強化され、世界の自動車産業は低迷し、改革を迫られている。*

世界的に景気が低迷している中、自動車セクターは、強化され厳しくなった環境規制を含むいくつかの難題に直面している。その結果、自動車販売は 2008 年の大不況以来のマイナス成長となり、自動車セクターに不透明感が広がっている。

### 収益性の低下

新しい技術と消費者の要求に応えることを迫られ、自動車メーカーは車の設計変更にも多額の投資をし、生産コストが増加している。

さらに、グーグルのウェイモ、テスラ、アークフォックス、愛馳などの新規参入で、これまで一定の安定を保ち、あるいは合併、買収、共同投資で集中の傾向さえ見せていた市場に不透明感が増した。

### 世界的な現象

2018 年 9 月、新車種について厳しい認証ルール「乗用車等の国際調和排出ガス・燃費試験法 (WLTP)」が実施されるようになったことで EU は大きな影響を受けた。

この厳格化されたルールは、承認の遅れやディーラーが販売する車の不足を引き起こし、自動車メーカーにとって明らかな障壁となっている。消費者は車の購入を遅らせざるを得ず、新車登録台数に直接的な影響が出た (2018 年 9 月に -23.5%)。

こうした技術的障壁や行政的障壁に加え、2018 年初頭からユーロ圏の消費者マインドにマイナスの傾向が見られる。このため、消費者の新車購買意欲が、特に、環境にやさしいエネルギーへの転換を奨励するインセンティブが枯渇するにつれ、薄れている。

米国市場も需要低迷の影響を受けている (2019 年 10 月末までの 10 か月で -1.1%; スポーツ用多目的車、ピックアップ・トラック、その他の軽トラックの需要は驚くほど安定しているが、特にセダン車等の需要が低迷している)。この傾向は、自動車メーカーの事業活動にも影響を与え続けており、米国内で数か所の工場が閉鎖された。

中国市場も需要の落ち込み (2019 年 10 月に -4%) の影響が深刻である。需要の落ち込みは、一部には、政府が発表する税制上の優遇措置を待つ消費者が様子見をしていることによる。これが米中の貿易摩擦に加えて影響を与えている。

さらに、北京、上海などの大きな都市で、毎年、新車のナンバープレートに厳しい制限を課している。そのため、中国の世帯は、中古車販売に目を向けるようになっている。

### 業界全体の収益構造に影響を与える困難な状況

自動車部品メーカーの成長や収益は、当然、こうした低迷の影響を強く受けている。生産コストの合理化や環境的制約に関係する技術開発が自動車メーカーに課せられていることで供給チェーン全体に影響が波及する。これは特に研究開発費について当てはまる。このため、決定的な技術を市場にもたらず上で必要となるコストを合理化するために、合併や買収が行われることになり、自動車産業の業界地図が一



## P R E S S   R E L E A S E

新される可能性がある。

**連絡先:**

ジョナタン・ペRez - Tel. 03 5402 6108 - [jonathan.perez@coface.com](mailto:jonathan.perez@coface.com)

**Coface: for trade –共にビジネスを構築**

70年の経験と最も幅広い地域のネットワークを持つことにより、コファスは取引信用保険、リスク管理およびグローバルエコノミーという分野において、世界有数のエキスパートとなりました。業界で最も機動的で、グローバルな取引信用保険のパートナーになるという目標のもと、コファスの専門家たちは世界経済の動きを常に分析しながら、50,000社の顧客事業の成功と成長、活性化のサポートを行っています。コファスグループのサービスとソリューションは、国内及び輸出市場で販売能力を向上するための与信判断のサポートと売掛債権の保全を含みます。2018年にはコファスの従業員は4100名となり連結売上高は14億ユーロとなりました。

[www.coface.jp](http://www.coface.jp)

コファスSAはユーロネクスト証券市場のA部にて上場しています

ISINコード: FR0010667147 / ティッカーシンボル: COFA

